

令和7年2月14日

保護者の皆様

子安小学校PTA会長 金井 玲子  
同 校外指導委員長 蓑田 雅

## 校外だより 2

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

子どもたちの安全を守るため、保護者の皆様には日々見守りをご協力いただきありがとうございます。

子安小では登校班による通学を実施しています。来年度の見守り活動などに関して、各地区の要望について学校と協議した内容をご報告いたします。

### 令和6年度 見守り活動などに関する意見要望一覧

#### ★見守りポイント及び見守り活動に関する意見

①自分の子どもが通らない見守りポイントは外してほしい。（そのルートを通る地区で担当してもらいたい）

→基本的には自分の子どもが通うポイントになるように考えていますが、各地区の世帯数に応じて負担が偏らないようにしています。今後改善していく上では、必要な箇所は残しつつ、見守りポイント自体を減らすことが必要だと考えています。

②未就学児がいる保護者は担当を除外してほしい。

小さい子どもを置いて家を空けることの不安、子どもの突発的な体調不良などで穴を開けてしまい、代わりの方を見つけることが困難である。近隣の小学校では登校班があるが、未就学児家庭の当番免除があると聞いているので子安小でもできないか。

見守り当番の負担がなくなる分、ベルマークやカーテン洗濯等他の形でPTA 活動への協力をするのはどうか。

→各家庭で事情が異なること、また地区ごとに未就学児がいる家庭が一定ではないと推察される中、一律の免除条件の設定は難しいと考えています。各地区の中で個別に相談していただき、活動を免除することは問題ありません。

③子ども会に入っておらず連絡が取れないご家庭が増えてきており、旗の受け渡しがスムーズにいかず、当番不在の事態が何度か起きている。旗当番の割り当ては現状各班の班長が行っているが、子ども会に入っていない人への連絡等学校を通してやり取りをするのであれば、今後は校外指導委員がやった方が効率的ではないか。

→昨年度、連絡の取れないご家庭は学校が間に入って旗や当番表の受け渡しを行っていましたが、本年度はどこかでそのような引継ぎがうまくいっていなかったと思われまます。今後もそうした場合は学校を通してやり取りしてもらおう形が望ましいと思います。

回ってこなかった時のために各地区で旗を多めに持っておく、連絡の取れないご家庭は予め当番から外す等の方法もやむを得ません。「全員が平等に当番をやらなければならない」ということにこだわらなくても構いません。各地区でやりやすい形で運用していただき、必要でしたら校外指導委員までご相談ください。

④現在日産メディカル、子安台歩道橋下の2箇所+地域のボランティアの方がT字路を見守ってくださっていますが高齢化のためやってくださる方が減っています。

歩道橋下は自転車の通行が多く、安全上外せないなので今後保護者がやっていくべきなのか…

→この箇所は子安台と新子安北部しか通らないので結局その地区の負担が増えることになります。「負担が増えてもやらなければならないか」を地域で再度検討していただきたいです。

## ★見守り時間についての意見

### ①入江2丁目カチャカチャ前の見守り時間について

新校舎移転後に歩道橋等での渋滞回避のため大口通の班の出発を早め、見守り時間も7:50から7:48へと早めた経緯がある。

ローソン前の歩道橋完成以降、出発時間を遅くしたと聞いており、最近では一番早い班で7:52頃到着のよう。

それに伴い見守り時間を7:50に戻せるのではないかな？

→時間変更は可能です。地区で相談の上、変更した内容を校外指導委員までご連絡ください。

→実際にここは信号もあるので該当地域で合意形成が取ればポイント自体をなくす、等の判断もあると思っています。

### ②子安台登校ルート変更について

・危険箇所を迂回する形で新たな登校ルートに変更できないか。

→学校側とも協議しましたが、そのルートが現状ルートより安全かどうかは今は判断がつかない状況でした。ルート変更の際は警察への連携等も必要になりますので、もう少し時間を頂きたいと考えています。

## ★その他要望

・見守りポイントの割り振り表の表記について「オーケーストア前(旧小学校側)」→「オーケーストア前(産業道路側)」の方がわかりやすいのではないかな。

実際(旧小学校側)がわからず、校舎前の横断歩道に立ってしまい産業道路側の当番が不在になってしまう事案が起きた。

新しいマンションが建ち、旧小学校を知らない方も今後増えてくると思うので検討していただきたい。

→割り振り表の表記を変更いたします。

併せて各地区、ご家庭でも見守りポイントの位置を共有していただきますようお願いいたします。

## <総括>

登校班で万が一事故や問題が起きたとしても、見守りで立っている人の責任にはなりません。困ったことがあったら学校や校外指導委員にすぐお伝えください。

見守り活動について不安のある方や、より安全な活動をしたいと考える方は毎年横浜市が開催している「はたふり誘導講習会」へご参加ください。

また横浜市 WEB サイト内の「スクールゾーン活動」のページにも活動時の注意点をまとめたハンドブックや動画もありますのでご活用ください。

現状登校班の運営は年々難しくなっていると実感しています。保護者の負担と安全を担保するために何ができるか、という点を学校側とも協議しています。そのためには「自分の安全は自分で守る」ことに重点を置いていきたいと思えます。

子ども達へむけて、学校での交通ルールや登校ルールについて教育する機会を今以上に増やすと同時にご家庭でもお話をさせていただきたいと思えます。

基本に我々はサポートをしていき、「できる限り」というスタンスで運営できる登校班を目指したいと思えます。

校外指導委員長 蓑田